

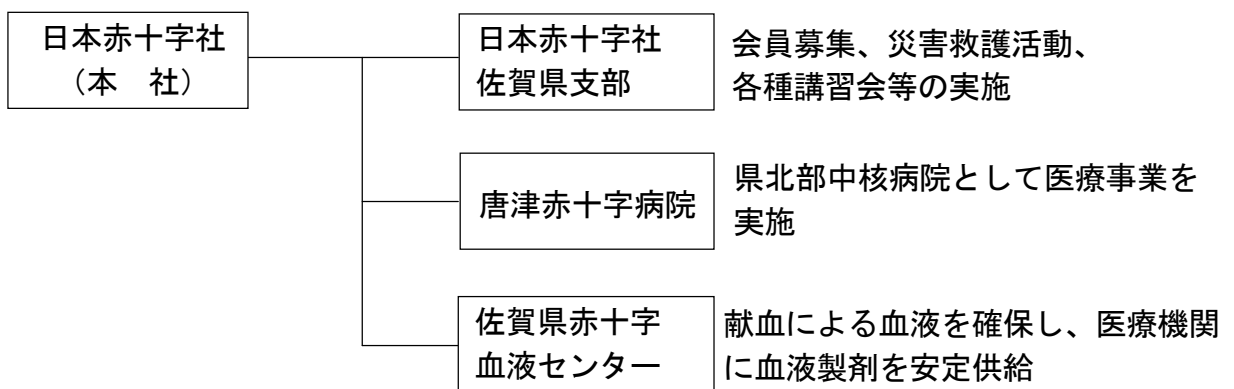
# □ 佐賀県内における赤十字組織の概要 □

**知力・体力・情熱あふれる人材を求めています!**

日本赤十字社は、日本赤十字社法という法律に基づいて設置された法人です。日本赤十字社は、毎年一定の活動資金を納める会員及び様々な活動を展開するボランティアによって支えられ、また、事務局として事業を行なう本社・支部、事業を実施する施設として病院・血液センターなどがあり、多角的に赤十字事業を展開しています。

## 1. 組織

赤十字の佐賀県内における組織状況は次のとおりです。



## 2. 各施設について

### (1) 日本赤十字社佐賀県支部



赤十字は、「いのちと健康を守り、人間の尊厳を確保するため」人道的諸活動を行っている団体です。

日本赤十字社佐賀県支部は、国際的にはジュネーブ諸条約、赤十字国際会議の決議に基づき、国内ではそれら諸条約、決議を拠りどころとした日本赤十字社法及び同定款に基づき、佐賀県内における赤十字活動の中核を担っています。

具体的には、国内における大規模自然災害における医療救護活動、義援金等の受付、被災者の救

援活動をはじめ、平時においては命と健康を守る各種講習会の開催、青少年赤十字活動の支援およびボランティア活動をしていただく各種赤十字奉仕団の支援を行い、人道的任務を達成するための様々な事業を行っています。

また、日赤本社および佐賀県内の唐津赤十字病院や佐賀県赤十字血液センターと連携しながら、市町の窓口である日赤地区・分区とも円滑な連携に努めています。同時に、赤十字の理念とその活動にご賛同くださる会員を広く募集し、会員からご提供いただく会費と寄付金を確保することで事業の円滑な遂行に努めています。

日赤佐賀県支部は、会員や県民の方々の信頼と期待に応え、国外・国内を問わず積極的に赤十字活動を実践できるタフな人材を求めています。

## [支部概要]

- 名称 日本赤十字社佐賀県支部
- 住所 佐賀市川原町2番45号
- 開設年月日 明治22年5月28日
- 組織
  - 総務課：人事、給与、労務管理、会計、地域窓口との連絡調整、広報、社員募集
  - 事業推進課：災害救護、国際活動、講習指導（救急法、水上安全法、幼児安全法、健康生活支援、防災）、青少年赤十字・赤十字ボランティア活動支援
- ・職員数 11名

## (2)唐津赤十字病院



唐津赤十字病院は、風光明媚な佐賀県唐津市にあります。当院は佐賀県北部地域の中核医療機関として診療圏人口約13万人に対して良質かつ適切な医療サービスの提供を目指しています。

また、当院は地域医療支援病院（地域の医療従事者に対する研修の実施等）、地域救命救急センター、地域連携小児救急センター、地域がん診療連携拠点病院、臨床研修病院等として地域医療発展の役割も担っており、職員一同が「地域医療の最後の砦」として日々奮闘しています。

当院は、医師、看護師等の医療従事者の充実、最新医療機器の整備等、医療提供機能の充実を図っていますが、超高齢化社会の到来を踏まえ、時代のニーズを先取りし、医療環境の変化に対応でき、病院経営を実践できる事務系総合職を募集しています。

- 総務課 人事、給与、労務管理、福利厚生、文書管理、防火、警備
- 会計課 予算・決算、収入・支出、債権管理、営繕、契約
- 医事課 患者の受付・接遇、料金算定・支払請求・収入調停、医事統計
- 情報システム課 情報システム開発・運用・管理、電子カルテシステム、
- 医療社会事業課 医療事故対応、災害救護、社会的事業の協力
- 診療支援課 DPCに係る病名コーディング、診療録、医師事務作業補助
- 経営対策室 経営の総合企画、経営・診療情報の調査・管理、DPC分析
- 教育研修推進室 臨床研修の企画、専門医・指導医の育成、職員教育
- 患者総合支援センター 病診連携・病病連携、紹介・逆紹介
- がん医療推進センター がん診療関係、緩和ケア、がん診療に係る相談支援

事務系総合職は、これらの業務を経験し、将来は病院経営の舵取りを担う経営マネジメントスタッフとして育成していきます。

## 【病院概要】

- 名称 唐津赤十字病院
- 住所 唐津市和多田2430

○開設年月日 昭和32年10月

○許可病床数 304床

○診療科目 内科、神経内科、呼吸器内科、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、眼科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、呼吸器外科、精神科（28科）

○職員数 604名（医師79名、看護師338名、コ・メディカル80名、事務職60名、その他47名）（平成29年4月1日現在）

○病院収益 54億49百万円（平成27年度）

○患者数 入院延患者数 102,181名、1日平均279名（平成27年度）

外来延患者数 111,692名、1日平均461名（"）

○唐津赤十字病院の理念

「安心な医療」

「あたたかい看護」

「地域への貢献」

### （3）佐賀県赤十字血液センター



血液事業は、血液を提供する人を募集して、人の血液を採取し「血液製剤」として治療を必要とする患者さんのため、病院等に供給する一連の事業です。

全国で統一された事業運営により、安全性の確保された設備と、より高度な検査・製剤機器を導入して血液製剤の安全性を図っています。

また、各血液センターでの血液製剤の種類や型別の在庫のばらつきをなくし、地域事情により生じる格差（例えば離島の多い県、少子高齢化・人口偏在など）のない全国均質の事業を展開するよう努めています。

当血液センターでは「患者の笑顔と献血者の奉仕の心が見える安心と納得の血液事業」をビジョンに掲げています。人と人が助け合う心を育む血液事業を目指して、私たちと一緒にガンバル人材を求めています。

#### [血液センター概要]

□名称 佐賀県赤十字血液センター

□住所 佐賀市八丁畷町10番20号

□開設年月日 昭和57年4月

□組織（事務系のみ記載）

○総務課 企画、広報、人事・労務管理、給与、経理

○献血推進課 献血推進、献血者の受入、骨髄バンク登録者の受入れ

○供給課 血液製剤の医療機関への供給

○学術・品質情報課 医薬情報活動、品質関連活動

職員数 50名

### 3. 先輩達の声

#### (1) 日本赤十字社佐賀県支部

##### ○馬渡 幸秀 (H22 年度入社/事業推進課)



私は事業推進課に所属し、災害時の救護活動や、学校教育に赤十字の理念を普及する青少年赤十字、健康を守るための講習普及などを行っています。様々な職種の方、または多くのボランティアの方々と関わるため、コミュニケーション能力が何より大事です。また、赤十字普及のためイベントや研修会を企画・運営する機会が多く、責任感や達成感を感じることができ、自分自身を高めることができる職場だと思っています。

赤十字の仕事の先には苦しんでいる人がいます。自分自身が頑張った分“いま”そして“みらい”の苦しむ人を救うことに繋がる赤十字の仕事に携わることができ、とても誇りに思います。人と関わるのが好きで、元気とやる気のある方、ぜひ一緒に働きましょう。

#### (2) 唐津赤十字病院

##### ○結城 健 (H27 年入社/経営対策室 兼 広報推進室)

主に病院で実践している経営手法、バランスト・スコアカード (BSC) の管理と病院広報を担当しています。どちらも病院の将来に関わる仕事なので、とてもやりがいを感じています。

ぜひ一緒に働きましょう！

##### ○福本 望 (H26 年入社/経営対策室 兼 広報推進室)

私が唐津赤十字病院に入社した動機は、地域と社会福祉という2つの視点に絡む仕事をしたいと学生時代に希望したためです。縁あって当院に入社しましたが、赤十字の名を冠した病院であることの意義深さに、遅まきながら誇りを覚えています。漠然とでも人のためになる仕事をしたいと考えておられる方は、ぜひ一度当院に勤務することをご検討ください。

##### ○川内 かな子 (H27 年入社/会計課 兼 広報推進室)

一般物品から医薬品や医療機器まで、さまざまな物の購入や管理を担当するかたわら、兼任で病院の広報活動も行っています。新しい試みで日赤を内側から盛り上げてくださるような、感性豊かで元気な方をお待ちしています！



#### (3) 佐賀県赤十字血液センター

##### ○清水 翔太郎 (平成 24 年入社/供給課)

私は、主に輸血用血液製剤を医療機関に届ける供給業務を行っています。輸血用血液製剤は、皆様の献血により頂いた血液をもとに作られます。皆様の善意を無駄にしないよう、全国規模で調整を行い、輸血を必要としている患者様のため、私たちは日夜奮闘しています。供給業務は、内部はもちろん、外部との連携・コミュニケーションが大変重要な業務です。互いを思いやり、真摯に業務に取り組める方、ぜひ一緒に働きましょう！

